

平成20年度

「全国学力・学習状況調査」 の結果について

平成20年度「全国学力・学習状況調査」の結果が公表されましたので、錦江町教育委員会より、本町の結果の概要をお知らせします。

なお、①本調査は、児童生徒が身につけるべき学力の一部について調査したものであり、学力の全てを表したものではないこと、②本町は調査対象となる児童生徒数が少ないため、結果はあくまで目安であることを念頭に御覧ください。

【調査の目的】

- 1 国が、全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童生徒の学力・学習状況を把握・分析し、その結果を検証するとともに改善を図る。
- 2 各教育委員会、各学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育の結果を把握し、改善を図る。また各学校において、各児童生徒の学力・学習状況を把握し、学習指導等に役立てる。

【調査の方法】

- 1 調査対象 小学校第6学年、中学校第3学年の全児童生徒
- 2 調査内容
 - (1) 教科に関する調査（国語科、算数・数学科）
 - 主として「知識」に関する問題（国語A、算数・数学A）→ 基礎的な内容
 - 主として「活用」に関する問題（国語B、算数・数学B）→ 応用的な内容
 - (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
 - 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

【教科に関する調査結果と改善へ向けてのポイント（概要）】

教科等	結果の概要	改善に向けて
小学校 国語	<ul style="list-style-type: none">○「A問題」は全国平均よりやや高く、今回出題の基礎的な内容については概ね身につけていると考えられます。○「B問題」は、全国平均をやや下回っており、知識等を活用する能力を高める必要があります。○領域別には、「書くこと」「読むこと」が全国平均を下回っており、今後の課題です。○漢字の読み書きをはじめとする基本的な言語事項については、大変よい結果となっており、日常の指導が定着しているようです。	<ul style="list-style-type: none">○目的に沿った文章等の作成、一つの資料から別の資料（案内文等）を作成する活動の充実○文章を推敲する力を高める活動の充実○筆者の意図や考えを、文章表現からの的確に読み取る活動の充実○ノート指導を含めた「書く」活動の充実